

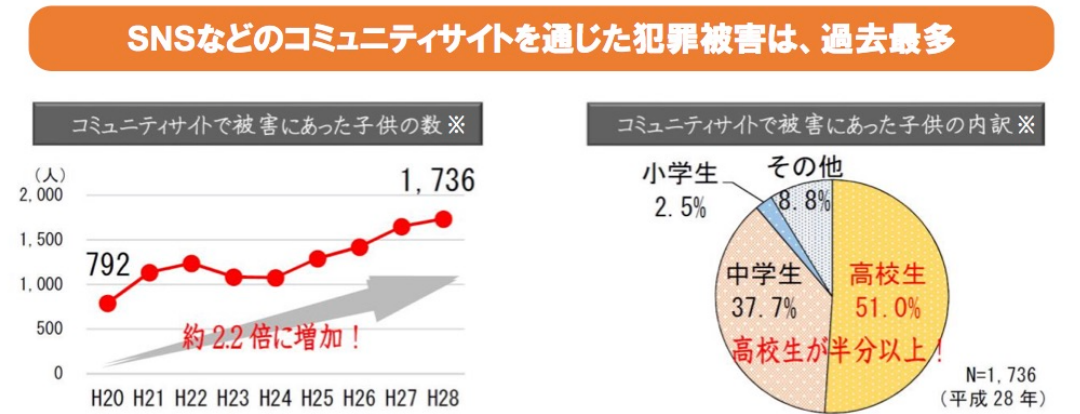
中高生が SNS を使うことについて

4 組 布川淑恵・大羽優華・中野凜花・森川彩音

はじめに

総務省のまとめ（インターネットトラブル事例集）によると、年々スマートフォン利用の低年齢化が進み、SNS を通じてトラブルに巻き込まれる件数が増加している。高校生以下は PC よりもスマートフォンや iPod touch などの端末で SNS をする率が高く、悪意も、また深い考えもなくトラブルになっているケースが多い。

中高生が使う SNS は主に LINE と Twitter だと考えられるが、この 2 つのメディアが持つ特性をよく理解しないで、安易に投稿したり、ネット上でしか知らない人と親しくなることが原因の一つである。次にトラブルの原因の特徴を 4 つのパターンに分け、どのような対策が可能かを示してみる。



※【出典】警察庁・文部科学省「夏休みを迎える君たちへ～ネットには危険もいっぱい～」(平成29年6月27日公表)

コミュニティサイトでのやり取りがきっかけで、児童買春や児童ポルノ等の性犯罪被害にあう子供が急増しています。その半数以上は「善悪の区別や危険の判断はできるから」と、SNSを比較的自由に活用している高校生。リアルな友達とネットで知り合う人の違い、頭ではわかっているはずなのに……。

(出典：総務省、「インターネットトラブル事例集 (平成 29 年度版)」)

SNS トラブルの原因の 4 つの特徴

- ① 知識不足、考慮不足（悪意がない場合が多い）
 - ・位置情報のついた写真を UP して個人が特定される、待ち伏せされる、空き巣被害にあう。
 - ・不正アプリを使用してウィルスに感染したり、個人情報が流出する。
 - ・著作権、肖像権を侵害する（カラオケで歌う動画を UP する、友達の写真を UP する）。
 - ・PW 不要の Wi-Fi Spot で通信内容、個人情報を盗まれる。
- ② 自らの欲望によるもの
 - ・お金欲しさに SNS で援助交際相手を募集（サイバーパトロールをしている警察に現場で補導される）。
 - ・自らの鬱憤を晴らすために個人や学校を脅迫する様な嫌がらせを呼びかける（警察が動き、発信者が特定され、地域にも迷惑をかける）。
 - ・ゲームの課金が高額になる。
 - ・ゲームアイテムのために自ら ID と PW を他人に教え、ゲームを乗っ取られたり、アカウントを乗っ取られる。
 - ・プログラミングテクニックを認めてもらいたいために、ウィルスを作成したり不正アクセスをする。
- ③ スマホ依存
 - ・帰宅後、夜遅くまで SNS をして学校で居眠りをしたり、成績が落ちたり日常生活に支障をきたす（友達関係や、目を離した隙に自分だけ外されていたりするの心配でスマホを手放せない。友達とのトークやスマホ内のアプリが楽しくて、スマホを長時間使用し、自分をコントロールできない）。
- ④ 集団の心理、同調圧力、匿名性
 - ・いじめ（一人だけグループから外して悪口を言ったり、グループで無視などの行動を取ろうと話す。グループで友達を晒し者にし、さらに転送機能などでいじめを拡散する）。
 - ・他人になりすまして誹謗中傷をしたり、いじめをする。
 - ・サイバーカスケードによって、極端で排他的な意見に多数の人が加わり、炎上やいじめ、犯罪が起きる。

解決策

- ① については、自分を含めた周りの人に多大な迷惑をかける行為をしないために、小学生、中学生のうちから正しいネットリテラシーの共有が必要である。インターネットは複製が容易であり、実名を使っていなくても個人は特定されるし、不用意な UP で個人情報がすぐに流出する。
- ② については、親や友達に言えないようなことはしない、ネットは決して匿名ではなく法律に違反するような行為はすぐにばれる、ということを当たり前に共有できるような教育が必要である。
- ③ については自分でコントロールできない場合は家族とルールを作ったり、友達とルールを作って、お互いが安心して自分の時間を有効に使えるようにする必要がある。
- ④ については、ネットだけでなくリアルでも同じことで、集団心理に陥らない様に気をつけたり、ふざけているつもりが悪質な嫌がらせになりやすいことを、広く共通の見解として共有する必要がある。

結論

現在の社会では電子機器使用の低年齢化は、避けて通れない。外国に比べて日本は IT 教育が遅れている。海外ではオンラインでの課題の提出、ネット上の資料での自宅学習、メールで先生とコンタクトを取ること、学校で自分のパソコンを使って発表をしたりすることは当たり前になっている。学校で Wi-Fi が自由に使い、授業中にネットを使えという指示もある。行事や予防接種の案内なども、父兄にプリントを渡すことはなく、全てメールで伝えられる。

日本ではどの学校もスマホや PC を学校に持ち込むことを禁止する方向で進んでいるが、情報化社会の流れを止められない以上、学校を出れば簡単にネット世界につながるので、初等教育、中等教育の段階から、禁止するより正しい使い方を教育し、電子機器が身近にあることが当たり前という状況にして、ネットリテラシーの質の向上を目指す方向で進める方が得るのが大きいと考えられる。

これからの時代を生きる子供たちにとって、情報活用能力は不可欠、避けて通ることはできません。ですから、インターネットや、スマートフォンをはじめとするデジタル機器、SNS によるコミュニケーションなどを「賢く安全に使うための知識・知恵」や「ルールを守って使える心」を育むことが大切なのです。

(総務省 総合通信基盤局 消費者行政第一課 青少年担当)

参考文献

株式会社エーチーム, 2017, 「インターネット利用のデメリットは? 5つの問題点とその対策を解説」, Soldi, (2017 年 12 月 31 日, <https://www.soldi.jp/articles/internet-demerit/>) .

遠藤 美季, 2013, 「中高生のネット利用のトラブルと問題点」, キミのミライ発見, (2017 年 12 月 31 日, <https://www.wakuwaku-catch.net/%E4%B8%AD%E9%AB%98%E7%94%9F%E3%81%AE%E3%83%8D%E3%83%83%E3%83%88%E5%88%A9%E7%94%A8%E3%81%AE%E5%95%8F%E9%A1%8C%E7%82%B9/>) .

総務省, 2017, 『インターネットトラブル事例解説集 (平成 29 年度版)』, (2017 年 12 月 31 日, http://www.soumu.go.jp/main_content/000506392.pdf) .

高橋 暁子, 2013, 「“熱議”で分かるスマホ・SNS 問題——『高校生 ICT Conference』が目指すもの」, INTERNET Watch, (2017 年 12 月 31 日, <https://internet.watch.impress.co.jp/docs/column/teens/621883.html>) .

———, 2015, 「高校生が SNS をどう使っているのか? 本人たちが先生たちに解説してくれる講座、神奈川県教育委員会が開催」, INTERNET Watch, (2017 年 12 月 31 日 <https://internet.watch.impress.co.jp/docs/column/teens/700646.html>) .